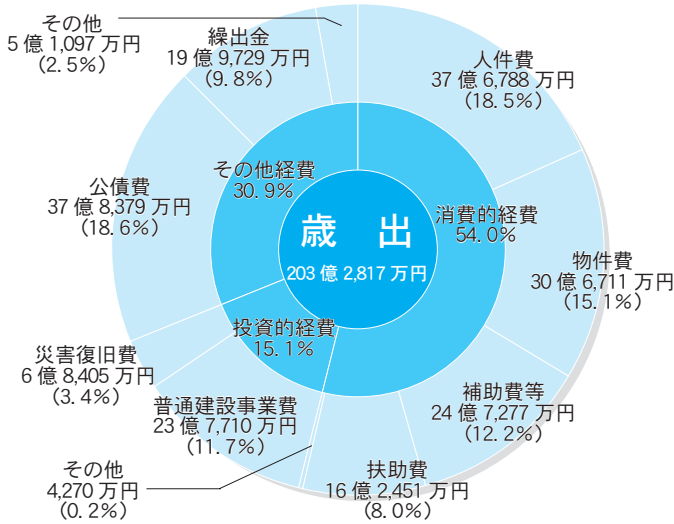
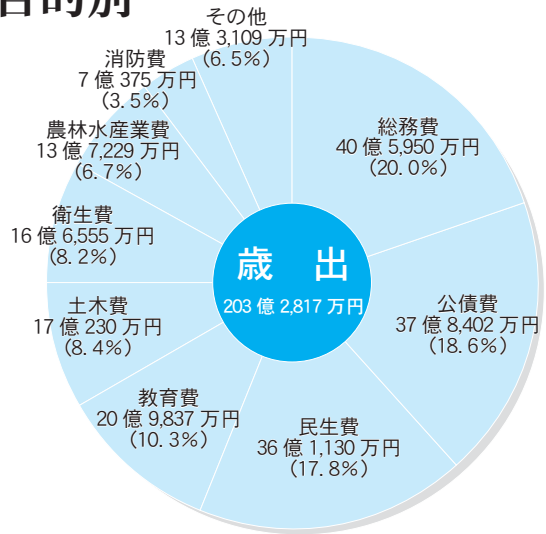


歳出 203 億 2,817 万円

性質別



目的別



特別会計と一般会計とは切り離し、独立した予算で行う会計です。

一方、企業会計は、地方公営企業法の適用を受けるもので、特定の事業についての収入で支出をまかなう独立採算性をとっており、水道事業会計、工業用水道事業会計がこれにあたります。

平成21年度の特別会計と企業会計をあわせた決算総額は、

特別会計と企業会計

平成21年度末の市債残高は、地方債発行額(新たに借金をした額)に比べ、元金償還(借金返済の元金)が多かったため、前年度末より16億2,051万円減少(4.9割減少)し、31億1,888万円となりました。また、市の貯金ともいえる基金の残高は、取崩額より積立額が多かったため、昨年度末より3億3,474万円増加し、98億4,270万円となりました。

市債と基金の状況

人件費には嘱託職員などへの賃金は含まれていませんが、これを含めた実質的な人件費は42億4,335万円となっています。

※人件費には含まれていません。

■財政指標等(普通会計)

財政力指数(3か年平均)	0.532
経常収支比率	89.3
公債費比率	17.1

■基金年度末現在高の状況(一般会計)

財政調整基金	47億5,053万円
減債基金	1億6,754万円
その他特定目的基金	49億2,463万円
計	98億4,270万円
市民一人当たり	289,346円

■市債現在高の状況(一般会計)

平成20年度末現在高	327億3,938万円
平成21年度市債発行額	16億2,270万円
平成21年度元金償還額	32億4,320万円
平成21年度年度末現在高	311億1,888万円
市民一人当たり	914,804円

会計の内訳

会計名	歳入決算額	歳出決算額	差引(決算収支)
一般会計	211億8,017万円	203億2,817万円	8億5,200万円
特別会計合計	86億4,543万円	84億7,913万円	1億6,630万円
住宅資金貸付事業	1,459万円	1,396万円	63万円
国民健康保険	32億8,230万円	31億9,648万円	8,582万円
老人保健	821万円	876万円	△55万円
簡易水道事業	4,225万円	3,264万円	961万円
と畜場	617万円	255万円	362万円
宅地開発事業	6,382万円	5,251万円	1,131万円
休日診療所	1,077万円	1,077万円	0万円
下水道事業	14億440万円	13億9,986万円	454万円
介護保険	32億9,697万円	32億5,041万円	4,656万円
後期高齢者医療	3億9,352万円	3億9,319万円	33万円
農業共済事業	1億1,338万円	1億924万円	414万円
財産区	905万円	876万円	29万円
企業会計合計	11億1,559万円	13億4,913万円	△2億3,353万円
水道事業(収益的収支)	7億2,896万円	7億888万円	2,008万円
水道事業(資本的収支)	3億8,244万円	6億3,575万円	△2億5,331万円
工業用水道事業(収益的収支)	419万円	450万円	△31万円
総合計	309億4,119万円	301億5,643万円	7億8,476万円

歳入(収入)97億6,102万円、歳出(支出)98億2,826万円となり、決算収支では老人保健特別会計、水道事業会計の資本的収支、工業用水道事業会計の収益的収支を除いて黒字もしくは歳入と歳出が同額となりました。